

体調の悪い生徒は登校させないで下さい。

下記のリストは学校からの指示であり、医学的なアドバイスではありません。
健康上の懸念がある場合は、医療機関に連絡して下さい。



症状



登校再開の目安

(以下は、自宅滞在の最短時間を示しています。病状によっては、より長く自宅に留まる必要があります。)

発熱: 100.4°F(38°C)
以上の熱



解熱剤を使用せずに発熱のない状態が24時間以上継続すること。同時に、COVID-19テストの結果が陰性である・またはテストを受けない場合は5日間自宅に留まること。

咳または呼吸困難



症状が改善してから24時間経過し、同時にCOVID-19主症状に関するガイダンスに従うこと。百日咳と診断された場合は、学校へ戻る前に処方された抗生物質を5日間服用すること。

首の凝りや発熱を伴う頭痛



症状がないこと。または、医師からスクールナースへ指示があること。発熱が見られる場合は、上記の発熱の場合に従う。

下痢: 1日3回以上の軟便・
下痢。または、便通のコントロールが困難な場合



48時間症状が見られないこと。または、医師からスクールナースへ指示があること。

嘔吐: 原因不明の嘔吐が
一回またはそれ以上ある
場合



48時間症状が見られないこと。または、医師からスクールナースへ指示があること。

発疹または腫れた傷



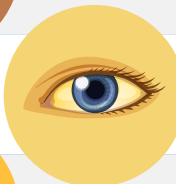
症状がなくなる(発疹が消える)こと。または、傷が乾くか、包帯で完全に覆われていること。または、医師からスクールナースへ指示があること。

黄色や茶色の目やにを
伴う目の充血



症状が見られない(目の赤みが取れ、目やにもない)こと。または、医師からスクールナースへ指示があること。

黄疸: 目や皮膚が黄色くなる



医師からスクールナースへ指示があること。

理由もなく普段と違う行動を
する。例えば、異常に眠い、
機嫌が悪い、混乱している等



症状が見られない(普段の行動に戻る)、または医師からスクールナースへ指示があること。

2週間以上の病気や入院などの
大きな健康上の出来事



医師からスクールナースへ指示があること。

生徒の健康状態が、学校スタッフ
が安全に提供できる以上の
ケアを必要とする場合

生徒のための安全対策を講じた後。